

ゆうき市 議会だより

Yukicity council information

第203号

令和元年8月1日



いきいき茨城ゆめ国体大会2019



6月8日



6月13日



6月25日



7月4日



7月18日

鹿窪運動公園の駐車場拡張のため 土地の取得に関する議案を可決

第2回定例会

▼会期13日間

6月13日～6月25日

市長提出案件 8件(すべて原案のとおり可決)

●議案第40号 市有財産の取得について

PICK UP

国体のため土地を購
入し、鹿窪運動公園
駐車場を拡張します。

第4駐車場拡張整

備事業用地を取得す
るための土地売買契
約です。合計5,86
4㎡の土地を35,
129,709円で
購入します。



人事案件

選任第6号 以下の方の選任について同意

教育委員 中村 義明氏

選挙

選挙第4号

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員

稲葉 里子議員

第2回定例会 議決結果

議案	議決結果	秋元 勇人	石川 周三	滝沢 利明	上野 豊	大里 克友	土田 構治	會澤 久男	大橋 康則	佐藤 仁	平 陽子	安藤 泰正	立川 博敏	黒川 充夫	早瀬 悦弘	稲葉 里子	大木 作次	船橋 清	孝井 恒一
報告第1号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○
報告第2号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
報告第3号, 報告第4号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第38号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-	○	-	○	○
議案第39号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○
議案第40号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
選任第6号	選任可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○

※○は賛成 ●は反対 ☆議長 大木作次は採決には加わらない

件名	内容
報告第1号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	消費税の引上げに伴い、軽自動車税のグリーン化特例の現行制度を2年延長するとともに、環境性能割の税率を軽減する特例措置を規定するもの
報告第2号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	法律の改正に伴い引用している条項が変更されたため、条例の一部を改正するもの
報告第3号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	低所得者に対する介護保険料の軽減措置を拡充するため、所得段階が第1段階から第3段階までに該当する方の保険料を引き下げるもの
報告第4号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	国民健康保険税の基礎賦課額に係る賦課限度額を58万円から61万円に引上げ、均等割額及び平等割額の軽減措置に係る判定所得について5割軽減及び2割軽減の基準所得を引上げるもの
議案第38号 令和元年度結城市一般会計補正予算(第1号)	主に、プレミアム付商品券事業費の増額等により、歳入歳出それぞれ6,590万円を増額するもの
議案第39号 結城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	投票管理者等の報酬を改めるもの
議案第40号 市有財産の取得について	上記のとおり
選任第6号 結城市教育委員会の委員の選任について	上記のとおり
選挙第4号 茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙について	上記のとおり

学校給食費の助成拡大を 今後の検討課題としていく

学校給食の無償化について

問 無償化のための経費について伺います。

教育部長 保護者から徴収するべき給食費が約1億9,120万円となっており、そこから、「子育て応援助成金」、要保護及び準要保護児童生徒及び特別支援教育就学奨励費対象児童生徒の給食費を合わせた2,340万円を差し引いた、約1億6,780万円が、毎年必要となる経費となります。

問 月額1,000円を助成した場合の経費について伺います。

教育部長 約3,770人が助成の対象となり、年間では、約4,150万円が必要経費となります。

問 筑西市では、月額1,300円助成しておりますので、本市でも1,000円助成というのは、考えられると思いますが、給食費の無償化と助成の拡大について伺います。

市長 給食費の無償化と

助成の拡大につきましては、いずれも、新たな財政負担が伴うことから、本市の財政状況等を踏まえた上で、より効果的に子育て世帯の経済的な負担軽減が図れるよう、今後の検討課題としてと考えております。



▶本市の学校給食の一例

工業団地について

問 上山川北部地区工業団地の造成工事の進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。

産業経済部長 31年1月から本格的に工事に着手し、山林の伐採、区画の整地、調整池の掘削などを行っております。企業誘致につきましては、30年4月には、分譲予定区画の全て内定しております。今後のスケジュールにつきましては、ひきつづき土地の造成工事と

調整池の築造工事を進め、さらに区画道路の整備を進め、全体工事の完了は、令和2年5月を予定しております。

問 新たな工業団地の造成について伺います。

産業経済部長 空いている区画はほとんどない状況でありますので、新たな工業団地を検討する必要性はあると認識しております。課題として、土地利用に関する法規制の強化、雨水排水対策が挙げられます。今後は、市

全体の総合的な土地利用を考慮しつつ、景気動向を注意深く見据え、新たな工業団地の適地を検討してまいります。



▲上山川北部地区工業団地造成工事



おおさと かつとも
大里克友 議員

子育て世帯の負担軽減を

新庁舎稼働後の駅前分庁舎は

移転集約化を図り幅広く跡地検討していく



たちかわ ひろとし
立川博敏 議員

公共スペース確保はきちんとした見通しの下で行うべき

駅前分庁舎について

問 今後の維持管理コストや修繕見通しは。

市長公室長 建物全体の老朽化度合や設備機器の劣化具合を勘案すると今後長期間にわたり運用を続けるには相応の修繕又は改修工事が必要と考えている。

市長公室長 建物全体の老朽化度合や設備機器の劣化具合を勘案すると今後長期間にわたり運用を続けるには相応の修繕又は改修工事が必要と考えている。

問 キーテナント撤退による影響は。

市長公室長 主要テナントの撤退により建物維持

に要する経費の確保が厳しい状況は否めず、市としても行政部署が新庁舎へ移転するまでの間、駅前分庁舎の機能維持を図るべく施設管理者と協議を進めている。

問 新庁舎稼働後の見通しは。

市長公室長 市所有3階部分執務スペースは新庁舎へ行政部署が移転すると駅前分庁舎の半分が空きスペースとなる。市民活動支援センターや市社会福祉協議会、子育て広

場などの施設の方針は未定だが、現本庁舎跡地への移転や他の公共施設への集約化を図ることでの幅広い跡地検討が行えると考えている。

問 建物全体の市としての方向性支援について。

市長公室長 民間事業者が主体の施設なので、市が直接テナント募集や誘致支援を行うことは考えていない。

問 市長の見解は。

市長 新庁舎開庁後、その跡地を今後どのようなようにしていくかが課題。建物全体の施設維持管理に支障が出ると、新庁舎移転までの間、駅前分庁舎の行政機能を維持していくことが困難となるので、駅前分庁舎の機能維持を優先した対応を行い、併せて跡地計画の検討を進めることが重要。



大学誘致について

問 結城市での誘致における課題は。

市長公室長 「少子化による18歳人口の減少」「大学の都心回帰の傾向」「看護学部の新増設に伴う看護教員不足」「校地の無償貸与や校舎整備費の助成」があげられる。

市長公室長 「少子化による18歳人口の減少」「大学の都心回帰の傾向」「看護学部の新増設に伴う看護教員不足」「校地の無償貸与や校舎整備費の助成」があげられる。

問 誘致の実現性は。

市長公室長 (国の地方創生に関する) 動向等を注視しながら誘致可能性

について検討していくが、医療福祉系の学部学科に特化して誘致を進めたとしてもなお難しく、それ以外の方針転換をして学部学科を検討したとしても、なお困難な状況であることは変わらない。

問 大学誘致の方向付けについて。

市長 これまでさまざまな調査・研究を続けた結果、非常に難しいプロジェクトであることは十分承知しているが、引き続き取り組んでいきたい。

市内事業所への就業について

市民の市内就業を促したい

市内事業所への就業について

問 市内就業の施策と方針について伺います。

産業経済部長 本市を含むハローワーク筑西管内の雇用情勢は、既卒・新卒ともに、求人倍率が2倍前後となっており、求職者にとっては、非常に良い環境となっており、ます。しかしながら、市内就業者のうち、市内居住者が約半数にとどまっており、議員ご指摘のとおり、市民の市内就業とい

った点では課題があると認識しております。

市内にどんな企業があるのか知られていない現状から、魅力的な働く場があることをPRする目的とした、ホームページ「結城で働く雇用促進・企業PRサイト」の運営と祭りゆうきにおける企業PRブースの設置・運営、広報結城での「魅力ある市内企業」PRコーナーの掲載を行っております。今後の方針としては、現在の雇用促進対策事業は、新規高卒者向けが中心とな

っており、それ以外の既卒者や新卒の専門学校生・大学生向けの事業が不足していると認識しております。市内事業所のご意見を聴きつつ、国・県と連携し、既卒者や新卒の専門学校生・大学生向けの事業を計画し、市民の市内就業を促したいと考えております。

市長 市内事業所への就業促進につきましては、市内への定住促進や市内事業所の事業活動の円滑化のために重要なことと認識しております。また、

市独自の雇用促進対策を行っていることは、企業誘致の観点や人材確保が難しくなっている現状などに、有利に働くと考えております。今後も、就業促進施策の充実を図り、結城第一工業団地上山川北部地区はもろんのこの就業を促してまいりたいと考えております。

保留地販売について

問 安心、優良物件である保留地の販売は好調に推移しているようでは

で、この流れが続いてくれるように願っています。土地区画整理事業の今後の進め方と方針について伺います。

都市建設部長 土地区画整理事業につきましては、物件移転、道路築造、上下水道事業、公園造成などの事業が重なる中で総体的に効率よく、短い期間で進める必要があります。これらの事業展開を計画的に進めていくために、財源確保は重要な課題の一つであると考えております。国の補助金

を活用するとともに、事業収入に不可欠な保留地販売について、公売に供されていない保留地の早急な造成、また、販売に際しては、ホームページなどのインターネットの活用やイベントでのPRを引き続き実施するなど、財源確保に努め、事業の早期完成を目指し進めてまいりたい。



▲保留地



あいざわ ひさお
會澤久男 議員

施設量縮減の計画の進捗状況は

全庁横断的な議論を進めている

公共施設について

問 結城市公共施設等総合管理計画の進捗状況について。

市長公室長 「施設保有量の縮減」は、類型ごとのワーキングチーム会議において施設の方向性を検討し、必要性を検証した上で縮減へとつなげていくため、全庁横断的な議論を進めているところでございます。なお、今後30年間にける縮減目標を施設量の15%、約24,000平方メートルと定

めておりますが、現段階では類型ごとの個別の数値目標は設けず、老朽化等に伴う使用停止施設や利用者が減少し代替施設で対応できる施設などを除却管理の候補として位置付け、積極的な縮減を図ってまいりたい。

次に、「施設運営」は、「第4次結城市行政改革大綱・改訂版」の推進項目に、指定管理者制度の導入を促進し、施設運営の効率化と経営の改善、経費の縮減等を図ることを推進しております。

平成30年4月から「ゆ

うき図書館」に、31年4月から「障害者福祉センター」に指定管理者制度を導入し、指定管理者による管理運営を行うっております。

次に、「施設使用料の見直し」は、「同行政改革大綱」の推進項目において、受益者負担原則に基づき適正な使用料の見直しを図ることを推進している。



好調な農産物売上を支える農業人口激減への対策は急務！！

水田振興について

問 農業後継者・新規就農者の確保策について。

産業経済部長 後継者育成支援については、結城市農村青少年クラブやJA北つくば結城青年部へ補助金を交付し、農業祭の開催や自主活動等の支援を行っております。つづいて、認定新規就農者支援については、本市ではこれまで5名の方を認定しております。さらにその中の方から、補助事業である、農業次世

代人材投資資金制度を活用し、交付金を受ける新規就農者は、令和元年度は2名であり、今後当該事業を最大限活用してまいりたいと考えております。また、Uターン就農希望者、新規参入希望者、新規学卒就農希望者などの発掘できるような制度の構築を関係機関と協力しながら、検討してまいりたいと考えております。



あきもと はやと
秋元勇人 議員

持続可能な市政の為に適正な公共施設運営を求めています。

子ども医療費窓口無料化実現には 試算で約3,600万円の費用が必要



たいら 平 議員
ようこ 陽子

公共交通について

問 市民に対して利用ニーズ等のアンケート調査や聞き取りを実施し、市で行うべき公共交通関連施策の在り方について方向性を模索していくための予算が昨年（平成30年度）計上されました。今後の取り組みについて答弁を求めました。

と考えます。今後、交通弱者等への公共交通サービス等については、「結城市域公共交通会議」での議論を踏まえ、継続して検討していきたいと考えております。

無料低額診療について

問 生計困難者が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料又は低額な料金で診療を行う事業です。市民への周知について伺いました。

生計困難者が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料又は低額な料金で診療を行う事業です。市民への周知について伺いました。

保健福祉部長 生活困窮者自立相談や生活保護相談において、医療費に係る負担軽減制度の一つとして、実施施設を案内してまいりたいと考えております。

保健福祉部長 生活困窮者自立相談や生活保護相談において、医療費に係る負担軽減制度の一つとして、実施施設を案内してまいりたいと考えております。

子ども医療費窓口無料化について

問 安心して子育てができる結城市を公約にされている市長にさらなる拡充を求め、子ども医療費窓口無料化について答弁を求めます。

安心して子育てができる結城市を公約にされている市長にさらなる拡充を求め、子ども医療費窓口無料化について答弁を求めます。

市長 子どもの医療費窓口無料化につきましては、県内自治体の動向を注視しながら、財政負担の課題を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。

市長 子どもの医療費窓口無料化につきましては、県内自治体の動向を注視しながら、財政負担の課題を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。

問 窓口負担無料化にした場合の試算は。

保健福祉部長 医療機関での窓口負担を無料にした場合の費用を平成30年度の実績をもとに試算いたしますと、合計約7,200人で、約3,600万円の費用が必要です。

学校給食費の無料化について

問 学校給食費無料化は、食育推進や保護者の経済負担軽減、定住・転入の促進が目的に挙げられています。当市の現状と課題を伺いながら今後の取り組みについて市長に答弁を求めました。

学校給食費無料化は、食育推進や保護者の経済負担軽減、定住・転入の促進が目的に挙げられています。当市の現状と課題を伺いながら今後の取り組みについて市長に答弁を求めました。

となります。

たつては、多額の財政負担が必要となることから、国や県の動向に注視するとともに、近隣市町村の状況や本市の財政状況を考慮したうえで、今後の検討課題として考えております。



交通弱者に配慮した交通手段の提供を

巡回バスを柱に、継続して検討する



いなば さとこ
稲葉里子 議員

高齢者も外出しやすいよう公共交通の環境整備が必要です。

公共施設等総合管理計画について

問 計画の進捗と今後の取り組みを伺います。

市長公室長 平成30年度は、施設の所管課において、目視点検による施設ごとの老朽化について数値化し、見える化を実施しました。今後の維持管理、修繕計画等の作成に重要な役割を果たすものと考えております。

今後の取り組みは、劣化診断調査の結果をもとに、施設の優先度を客観

現庁舎の跡地利用計画について

問 今後の計画について伺います。

市長公室長 現庁舎の跡

的に評価し、基本的な方針、施設の長寿命化や修繕等に係る経費を反映した工程表の作成に着手してまいります。また、旧公民館や立ノ山住宅など、使用停止や除却の方向性が示された施設は計画的に施設の整理を進めてまいります。

土地利用計画について「市庁舎整備基本計画」や庁内の関係課長等で構成する「市庁舎跡地利用計画検討委員会」等において検討を重ねましたが、これまで決定している事項はございません。今後も、必要最小限の機能の選定を中心に検討を継続しますが、人口減少による公共公益施設の需要低下や、財政負担の軽減等、難しい課題も山積しております。本庁舎跡地利用計画は新庁舎が開庁する時期を目標に慎重に判断してまいります。

空き家対策について

問 今後の取り組みについて伺います。

市民生活部長 結城市空家等対策協議会は、条例で、本協議会を設置し、結城市空家等対策計画に関する協議を行うこととなっており、協議会の委員は、10人以内を予定し、法律の指針に基づき、空き家に関する有識者の方々に委員を委嘱し、今年度中に協議会を設置する予定です。

都市建設部長 令和2年度を目標に「空家対策計画」の策定及び実用を

目指し、資料収集や補助事業の活用等の検討を行い、本市の空家対策に必要な体制づくりを進めます。

巡回バスについて

問 交通弱者や買い物難民に配慮した交通手段の提供について見解を伺います。

保健福祉部長 今後は、公共交通会議での議論を踏まえ、巡回バスの運行



▲巡回バス

を柱に、交通弱者対策や公共交通の方向性について継続して検討していく。地域での共助やボランティアの活用等の福祉施策のほか、移動スーパリーや宅配サービス等の商業振興策としての支援やIoTの活用など、様々な対応策が考えられますので、複合的な視点に立ち、検討していく。

何を基本として予算配分をするのか 市民の行政需要を的確に捉える



つちだ こうじ
土田構治 議員

インフラ整備の財源確保が重要である

財政運営について

問 「市民サービスの着実な推進」がどれほど図られているのか、財政健全化のために、犠牲となつて削られてきたものは何か、または、投資してこなかったものは何かです。では、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）を含め、財政の柔軟性をどう担保しますか。

市長公室長 今後、市庁舎建設事業に係る市債の借入れを行っていくことから、一時的な増加は避けられないものの、世代間の負担の公平性という

趣旨を踏まえ、引き続き新規発行を抑制していく方針を堅持しつつ、適正かつ効果的な活用を図り、さらに定員管理や行政改革の推進により人件費や物件費等を抑制することで、財政の硬直化が進まないよう努めてまいります。

問 新庁舎整備事業を踏まえ、経費の縮減を図らなければなりません。ただ、硬直性が強い人件費、扶助費、公債費は限界があります。

答 弁にありました新規発行を抑制しなければならぬ。それが柔軟性を

担保するために、市民サービス推進に大きく影響してくるのではないかと。そこで住民の各種要望への対応はどのくらい出ていますか。

市長公室長 市政懇談会の場にて各種要望が提出され、「市」として対応ができる案件は51件ございました。このうち32件につきましては、即時対応が必要、あるいは、年次計画により順次進めていく必要があると判断し、その実施について要望者側に回答したところでございます。担当部署において速やかに現状を確認

の上、緊急性を含め、総合的に勘案して対応してまいります。



英語教育について

問 本市単独で行っている小学1年生からの英語教育の現状における課題及び対策について質問い

たします。

教育部長 小学校における英語教育の学習指導につきましても、高い専門性が必要となります。現在の英語の授業は英語専門指導員と学級担任の複数で授業を行うティームティーチングで行っておりますが、学級担任の英語力や指導力に格差が生じていることが課題となっております。

問 「文化は言語によって成り立ち、言語で文化は維持される」と私は考えます。英語教育について教育

課程特例校の指定をうけてまで、小学1年生まで拡充した理由はなんですか。

市長 私がタイ王国を訪問した際に、子どもたちが流暢に英語を話す姿を見て、本市でも英語によるコミュニケーション能力を高め、グローバル社会で活躍できる人材を育成することが大切であると感じています。



本市のSDGsの取り組みは

総合計画に理念を反映できるように努める



くろかわ みつお
黒川充夫 議員

防災教育の推進をこれからも
お願いします!!

SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて

問 本市の施策を見るとSDGsに関連する事業があるが今後の方向性は。

市長公室長 SDGsは全世界が取り組むべきスケールの大きな目標であるため、本市でも今年度から2カ年で策定を進めている第6次結城市総合計画に、施策や主要事業とSDGsの関連付けやグローバル社会で必要とされる視点の位置

付けなどを行うことで、SDGsの理念を最大限反映できるように努めてまいります。

防災対策について

問 本市における、ドローン活用の現状と今後の取り組みについて。

市民生活部長 本市の現状としては、ドローンは保有しておらず技術者の養成等も行っていない。しかしながら、筑西広域市町村圏事務組合、消防本部指揮統制課において

2機のドローンを保有しており、本市における災害等有事の際には、結城消防署により手配が可能状況です。今後の取り組みとしては、本市独自のドローン導入の計画はございませんが、災害時の活用に加え、消防本部・結城消防署との連携を図ると共に、防災訓練等において、協力体制の維持と機能確認等を行っていく。



観光客（含外国人）の受け入れについて

問 明年、東京オリンピック控え外国人観光客対応の取り組みについて。

産業経済部長 商業観光振興計画に基づいて行っています。外国人観光客を増加させる取り組みといたしまして、ホームページの多言語化や市内観光スポットにQRコードを設置し、多言語表記の説明がスマートフォンで見られる仕組みを検討するほか、SNS等に

よる情報発信を積極的に行い、開催中の情報をリアルタイムで発信し観光誘客及び本市の知名度向上を目指したい。また、姉妹都市交流等で縁があり、日本への観光客が増加しているタイ王国に着目した取り組みを検討する。

小中学校における交通安全教育について

問 中学生の自転車保険への加入状況について。

教育部長 本市の中学生

における自転車保険の加入状況については、本年5月に実施した調査結果によると、自転車通学者の58・7パーセントの生徒が自転車保険に加入している状況となっており、児童生徒が自転車を運転中に何らかの要因により、加害事故を起こすことも十分に考えられることから、今後も保護者に対して、自転車保険の必要性を周知し、加入促進に努めてまいります。



委員会活動 レポート

市の仕事は様々な分野にわたっていることから、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。

●総務委員会



▲新庁舎建設工事現場

総務委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、6月18日に開催されました。まず、はじめに新庁舎建設工事現場の現地調査をしました。

工事の進捗状況としては、工事全体スケジュール表を確認し、順調に進んでいるとの説明を受けました。

また、当日は、鉄筋工事及びコンクリート工事を施工しており、現地にて施工状況を確認しながら、工事内容並びに安全管理について説明を受けました。

審査は、本委員会へ付託された令和元年度結城市一般会計補正予算（第1号）のうち所管事項分、結城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についての議案2件について行われました。

なお、審査の結果、付託された議案2件についてはすべて原案のとおり可決されました。

●産業・建設委員会

産業・建設委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、6月19日に開催されました。まず、はじめに本町浄水場を現地調査しました。

本町浄水場は、昭和37年12月に計画給水人口18,000人、1日最大給水量3,960m³/日の創設認可を受け、昭和40年に給水を開始しました。本町浄水場の設備の運転状況、配水池の水位、水の使用量など様々な情報は、遠隔装置により林浄水場から監視できるようになっています。

また、本市の水道事業は第4次拡張事業を進めており、安全でおいしい水の供給と災害に強い施設づくりに取り組んでいるとの説明を受けました。



▲本町浄水場

●教育・福祉委員会



▲結城中学校

教育・福祉委員会は、副市長・教育長・関係部課長の出席を求め、6月20日に開催されました。まず、はじめに結城市立結城中学校で、エアコン設置教室を現地調査しました。

近年の記録的な猛暑のため、空調設備の整備が全国的に急務となり、結城市内全小中学校の普通教室へのエアコン設置工事を発注し、事業を進めているところです。現在、市内全小中学校において学校内での作業は完了し、エアコンの稼働が出来るとの説明を受けました。

審査は、本委員会へ付託された令和元年度結城市一般会計補正予算（第1号）のうち所管事項分の議案1件、結城市教育委員会の委員の選任についての選任1件について行われました。

なお、審査の結果、付託された議案1件、選任1件についてはすべて原案のとおり可決されました。

議員表彰

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会より、議員20年として中田松雄元議員に、また、茨城県市議会議長会より、議員8年として、安藤泰正議員、平陽子議員、佐藤仁議員にそれぞれ市政の発展に尽くされたことに対し、表彰状が授与されました。

また、県西市議会議長会より、正・副議長在職中の功績を称えられ、秋元昇前議長、稲葉里子元副議長、黒川充夫前副議長に、県市議会議長会より、県市議会議長会理事としての在職中の功績に対し、秋元昇前議長に、結城市議会褒賞内規による永年勤続20年以上として中田松雄元議員に、特別褒賞の功績を称え、それぞれ感謝状が授与されました。



安藤 泰正
議員



黒川 充夫
議員



稲葉 里子
議員



佐藤 仁
議員



平 陽子
議員



特集

議員定数の適正化検討が始まる

6月4日に改選後初めての議会運営委員会が開かれ、次期市議会議員一般選挙に向け、議員定数の適正化を今後検討していくことに決定しました。一層の議会活性化を図り、市にとって最適な人員にて構成されるよう、議会運営委員会でも検討を進めていきます。



朗読

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、CD版の発行や対面朗読を行っています。ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。詳しいことは、議会事務局まで（0296-32-1111 内線 304・305）

令和元年 第3回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

9月 11日 本会議（開会）
12日・13日 一般質問
17日・18日・19日 常任委員会
20日・24日・25日 決算特別委員会
27日 本会議（閉会）
（日程が変更になる場合もあります。）

◆編集後記◆

令和元年を迎え、初めての定例会をお伝えする議会だよりをお届けいたします。今回は、4月に市議会議員選挙が行われました。残念ながら無投票での改選となり、市民の皆様の審判を受けることが出来ませんでしたので、これからの議会活動の出来栄で皆様に信任頂かなければならないと強く感じております。本年は8月に市長選挙も控えており、新たな結城市の一步を踏み出すこととなります。市議会といたしましても市民の皆様の意見を反映させる議決機関としての役割をしっかりと果たして参る所存でございます。また、その活動の様子はこの「議会だより」にてしっかりとお届けできればと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。（情報推進委員）

◆表紙によせて◆



結城市と小山市が連携する田んぼアート田植え体験が開催され、両市の小学生など合わせて約550人が参加しました。今年の絹会場では、ロードレース漫画「弱虫ペダル」を描き、子どもたちは、見頃を楽しみにしていました。小山市絹ふれあいの郷で見ることが出来ますので、皆様もぜひご覧ください。